

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/11/10

No. 15

賛同署名総数は	55,298	人 人 筆
11/9まで		
*オンライン署名	5,174	
*署名用紙署名	50,124	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。

スマホはこちらから

< 署名呼びかけ人トップインタビュー 第4回 >

宮城県漁業協同組合 寺沢春彦 組合長にお聞きしました。

～『ALPS処理水海洋放出に反対する署名』実施への思い～



▶ALPS処理水海洋放出決定の発表を受けて

「あくまで反対」と意見していましたが、思いが届かず残念でした。東日本大震災で宮城も福島も大きな打撃を受け、大変な思いをし、様々な苦勞をしてきました。「さあこれから」という時の発表に、国への不信感が募り水産業に対して国はどう思っているのか憤りを感じました。これからまた30年、40年かけて海洋放出するとすれば水産業にとって死活問題です。廃炉作業におけるずさんな管理を見ていると、陸上の放射性廃棄物の管理も出来ていないのに、海に流して管理できるのか疑問に感じます。安全だというのはIAEAの話であり、反対者の話をもっと聞いてほしいと思いました。



▶水産業への思い

東日本大震災で自然環境や地形が変わったりしながらもたくさんの助けを得ながらここまで立ち直ってきました。震災前の7～8割程度まで回復し、未来を見据えることができ始めた矢先での海洋放出決定。海洋放出が実施されるようなことになれば安心して担い手へ引き継ぐこともできないし、後継者がいなくなる恐れもあります。漁業が生業として成り立たなくなるのではないかと心配です。海に囲まれた島国なのになぜ日本は水産業を大事にしないのか。世界は国策として一次産業に力を入れています。一次産業への投資は未来への投資です。もしロックダウンしたら食料自給率の低い日本はどうするのかとコロナを経験して痛切に感じました。海洋放出されれば加工・運送も含め産業が成り立たなくなります。私たちはおいしいもの作り、漁業を未来につなげたい。普通のことを普通にやりたいただけなのです。



▶未来のために

人間が生活し、陸が発展すると最終的には海に影響が出ます。なんでも全部海に流していいのか、海はゴミ箱ではありません。流したら取り返しがつきません。近年話題になっているマイクロプラスチックも、何年前のプラスチックゴミが問題になっています。処理水の海洋放出は自然災害ではなく人災だと思います。この先30年以上に渡る海洋放出問題を次の世代に押し付けていいのか。いま本気で対応しなければならぬと思っています。



▶署名の手応え

生産者と消費者が一緒に取り組むことができたことがとても嬉しいです。生の声が大変ありがたく、心強く感じています。署名によって意思表示することで、不安に思っている人が多いことを可視化することができました。『廃炉』という言葉を出されると納得せざるを得ない部分があるように思いますが、国の言う安心安全は国民には届いていないと感じました。



▶全国生協の皆さまへ

東日本大震災以降たくさんのご支援をいただきありがとうございます。全国みなさんに「また食べたい」と思われるものを継続して流通していくことが、10年支援してもらってきたことへの恩返しになると思っています。多種多様な宮城の水産業を知っていただき、皆さんにおいしく食べてもらいたい。コロナが落ち着いたらぜひ現地に来て味わっていただきたいです。

【学習会を考えられている皆様へ】

学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 穴戸)

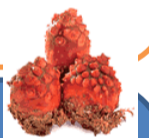


< 情報・お問い合わせ先 >

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)

▶海洋放出への不安

安全と安心は違います。震災後、宮城のホヤは韓国への出荷が無くなり7,000tのホヤが行き場を無くしました。風評は目に見えません。数字として制限がかかれば出荷できませんが、安全と言われて出荷しても、リスクがあったら消費者は購入しません。安心安全以外の部分で被害を受けており、現実、問題は今も解決していません。風評を経験しているからこそ、分かってもらいたいです。



▶海を守りたい

海洋放出が実施された場合、食べる魚に影響が無くとも、海のエコバランスを保っていいのか疑問です。淡水と海水は比重が違います。淡水が表層に溜まったら養殖場である浅瀬にプランクトンがいなくなる可能性があります。プランクトンがいなくなればプランクトンを食べる小魚がいなくなり、小魚がいなくなれば小魚を食べる大きな魚もいなくなります。海洋生物が住めなくなるような環境は死の海でしかありません。



▶寺沢組合長ありがとうございました。

海への思いが全身から伝わり、何度もうなずきながらお話を聞かせていただきました。「海ですべてを無くしたが、海によって助けられた」という言葉がとても印象的で、その一言がこの10年を物語っていると感じました。寺沢組合長のお気持ちは『海を守りたい』その一心。まっすぐな思いに胸を打たれたインタビューでした。

< 編集後記 > erikoのつぶやき

・最近のハマリもの『しっとりバウムクーヘン』。大好きなCOOP商品は数多ありますが、口に入れた瞬間目が大きくなるくらい衝撃を受けたのは久しぶり。ネーミングそのまま正にしっとり。とろける口どけのバウムクーヘンをグレーズがしっかり支え、やさしい甘さにアクセントが加わって絶妙のバランスです。そもそもバウムクーヘン好きですが、これは声を大にして言いたい。しっとりバウムクーヘンは飲み物です。

